

米価下落に対応した経営の多角化を図ろう ～明日の水田農業を考えるヒント集～ を作成

農政の転換や米価の大幅な下落により、本県農業は大きな岐路に直面しています。主食用米生産中心の経営を見直し、多角化を図るため、普及指導現場で使えるヒント集を作成しました。

《背景》

この度の農政転換や米価の下落は、大規模水稻農家や県が推進してきた集落営農組織にとってその影響は甚大です。県では、「島根の水田農業展開モデル事例集」を作成し、県内各地で創意工夫による新たな水田農業の展開を進めていますが、普及部などの指導機関が手軽に使える資料が必要と考えられました。

このため、主食用米生産中心の経営を見直し、多角化を図ろうとする生産者のためのヒント集「米価下落に対応した経営の多角化を図ろう～明日の水田農業を考えるヒント集～」を作成しました。地域普及部やJA、市町村、各地域再生協に配布し、経営を見直そうとしている生産組織等との話し合いの場で活用してもらおうと作成したもので、以下の県ホームページからも閲覧が可能です。

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/

《内容》

『ヒント集』は、省力化を含む経営の安定化や多角化に役立つ野菜・花きの露地栽培、育苗ハウスの活用や農産加工などの取り組み、販路の確保がしやすいもの「21」を選びました。

生産者によって経営状況が異なるため、必要最低限の内容とし、①特徴、②取り組み内容、③経営モデル又は事例、④留意点の4項目にまとめました。また、1ヒント項目をA4裏表で構成し、必要なヒントだけを取り出せるようにしました。

総会や話し合いの場で、経営の多角化、安定化に向けた支援や検討を行う際に活用されることを期待しています。

1	水稻の直播栽培
2	酒米・モチ米の栽培
3	加工用米の栽培
4	飼料用米の栽培
5	WCS用稲の生産と利用
6	有機水稻栽培で有利販売を实践（事例紹介）
7	大豆栽培
8	麦栽培
9	水稻育苗ハウスの後作でトロッコ栽培
10	水田でのキャベツ・ブロッコリー・たまねぎ栽培
11	水稻の後作であすっこを栽培
12	新規品目としてアスパラガスを栽培
13	ブドウ園を借りて水稻との複合経営
14	水稻育苗ハウスでぶどうを栽培
15	いちじくの露地栽培
16	施設を有効活用した花き栽培（ハウス編）
17	露地を有効活用した花き栽培（露地編1）
18	露地を有効活用した花き栽培（露地編2）
19	耕畜連携による「水稻＋繁殖和牛」の複合経営
20	西条柿のあんぼ柿加工
21	平もちの加工

掲載項目

問い合わせ先：技術普及部普及調整課（担当：宮廻 克己、山本 朗） TEL 0853-22-6940
E_mail:nougi@pref.shimane.lg.jp